

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	510 幼児ことばの教室									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局				
	基本計画【施策】	1-③子どもの可能性を伸ばす				担当課	幼児教育課				
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	01	項	教育総務費	03	目	教育指導費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	幼稚園教育指導関係経費			細事業名 (事業2)	幼児ことばの教室				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民		市内の4～5歳児の該当者			
事業期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	-						
事業の目的	就学までに教室の指導を通し、言葉の発達や吃音等軽度の遅れのある幼児の障害の軽減を図る。										
事業の概要	岡崎幼稚園及び子育て支援センターを会場に、専門指導員が3～5歳児の比較的軽度の言語障害児対象に指導する。										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎幼稚園「ことばの部屋」：月～金曜日の8：30～12：00・13：00～16：30に実施。 ・子育て支援センター：土曜日の8：45～12：15に実施。 ・入級者数36名 → 退級者数 9名 										
課題											
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算(見込)額	1,898 千円		2,139 千円		2,139 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円				
		一般財源	1,897 千円		2,078 千円		2,139 千円				
	人件費 (B)		1,870 千円		1,773 千円		1,777 千円				
	人工(職員数の内訳)		0.25 人		0.24 人		0.24 人				
	トータルコスト(A)+(B)		3,767 千円		3,851 千円		3,916 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	年長該当児が小学校通級学級へ通わない率(退級率)		%	目標	50	50	50				
				実績	45	42					
		達成度	89.0%		84.0%						

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 ・発音の改善を必要とする園児の入級希望があるため。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	改善(その他)
	今後の取組内容(課題に対する改善等)	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度は幼児教育課事業として、岡崎幼稚園では月～金、子育て支援センターでは月～金に通えない保育所児用に土曜日に実施。 ・目標指数は発達の遅れの程度に差があるため、年長児の退級者(小学校での通級学級へ通わない子=改善された子)の割合に変更した。

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	499 特別支援教育推進事業									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局				
	基本計画【施策】	1-③子どもの可能性を伸ばす			担当課	学校教育課					
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	01	項	教育総務費	03	目	教育指導費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	教育指導関係経費			細事業名 (事業2)	特別支援教育推進事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民		市内小・中学校の児童生徒			
事業期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	-						
事業の目的	学校における生活や学習上の困難を改善・克服するために、支援員を配置し、個に応じた支援を行う。										
事業の概要	①小・中学校の状況に応じて支援員を配置する。 ※H25より、幼稚園については幼児教育課に移行。 ②支援員に対する研修会を開催し、資質向上を図る。 ③専門家による巡回相談を実施										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①支援員を、小学校19名、中学校7名配置。 ②特別支援教育支援員研修会を開催（H26.6.25） ③専門家による巡回相談を実施（年間23回）										
課題	個別に支援の必要な子どもが増えているが、各校に必要な支援員の数を配置できない。										
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算（見込）額	31,266 千円		24,343 千円		24,438 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円				
		一般財源	30,575 千円		23,852 千円		24,438 千円				
	人件費 (B)		1,041 千円		1,593 千円		2,218 千円				
	人工（職員数の内訳）		0.13 人		0.21 人		0.29 人				
	トータルコスト (A) + (B)		31,616 千円		25,445 千円		26,656 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	巡回相談員の訪問回数	回	目標		30	30	30				
			実績		27	23					
達成度				90.0%	76.7%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 H25「学校教育法施行令」の改正に見られるように、特別支援教育は大変重要視されている。支援を必要とする児童生徒は増加を続けており、特別支援教育の推進が強く求められているため。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続	
今後の取組内容（課題に対する改善等）	・研修等で支援についての理解を深めるとともに、指導員の増員なども検討しながら事業を継続していく。	

平成27年度 ★実施計画 個別評価シート（26年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	518 特別支援教育推進事業（幼稚園分）									
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局				
	基本計画【施策】	1-③子どもの可能性を伸ばす			担当課	幼児教育課					
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	1	項	教育総務費	3	目	教育指導費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	幼稚園教育指導関係経費		細事業名 (事業2)	特別支援教育推進事業（幼稚園分）					
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民	公立幼稚園				
事業期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	-						
事業の目的	幼稚園における生活や学習上の困難を改善・克服するために、支援員を配置し、個に応じた支援を行う。										
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園の状況に応じて支援員を配置する。 ・専門家による巡回相談を実施 公立幼稚園・保育園：浜名特支コーディネーター10回 公立幼稚園：スクールカウンセラー12回 										

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員を、鷺津幼稚園4名、白須賀幼稚園1名、岡崎幼稚園3名、知波田幼稚園1名、新居幼稚園1名配置。 （支援の対象児数：鷺津50名、白須賀1名、岡崎23名、知波田6名、新居8名、新所1名） ・専門家による巡回相談を実施（年間12回） 										
課題	個別に支援の必要な子どもが増えているが、各校に必要な支援員の数を配置できない。										
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成25年度		平成26年度		平成27年度				
		決算(見込)額	0 千円		9,475 千円		9,556 千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円		0 千円		0 千円				
		一般財源	0 千円		9,230 千円		9,556 千円				
	人件費 (B)		0 千円		1,547 千円		1,184 千円				
	人工(職員数の内訳)		0.00 人		0.21 人		0.16 人				
	トータルコスト(A)+(B)		0 千円		10,777 千円		10,740 千円				
活動指標	内容		単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	巡回相談員の訪問回数	回	目標					24		24	
			実績					24			
達成度						100.0%					

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象児童の増加により、支援員の拡充が望まれる。 	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	改善（その他）
今後の方向性	今後の取組内容（課題に対する改善等）	